

## 国営木曾三川公園「(仮称)七里の渡地区」の起工式が行われました。

国営木曾三川公園「(仮称)七里の渡地区」は、国の重要文化財及び名勝に指定されている六華苑と諸戸氏庭園のほか、住吉神社・住吉浦、七里の渡、桑名城跡など川沿いに集積する歴史文化遺産を結んだ地区の一体的な整備とその利用促進を目的に、国営木曾三川公園「河口地区」(三重県桑名市)における新たな拠点として、事業を進めてきました。

国営木曾三川公園開園 25 周年の節目となる今年、本拠点の3エリアの内の「文化のシンボルエリア」の工事着手を行うこととなり、平成 24 年 10 月 24 日、起工式を行いました。

起工式では三重県知事、桑名市長の挨拶の後、木曾川下流河川事務所職員による事業概要の説明、工事の安全宣言が行われ、最後に工事の安全を祈願し関係者によるくわ入れを行いました。



鈴木三重県知事 挨拶



くわ入れする出席者

## 「(仮称)七里の渡地区」の概要



### 文化のシンボルエリア

江戸期から明治期にかけての歴史を残す諸戸氏庭園、六華苑を連絡し、調和する公園として、せせらぎ、レンガ壁等による修景整備をします。また、歴史散策の拠点としての利用に便利な休憩施設を整備します。



文化のシンボルエリアの整備イメージ

## 堤防や水門等の耐震対策工事を進めています。

平成24年8月に内閣府から「南海トラフの巨大地震による津波高・浸水域等及び被害想定について」が公表されました。これは現時点の最新の科学的知見に基づき、発生しうる最大クラスの地震・津波を推計したものです。本結果によれば、木曾三川河口部における地震の揺れは震度6強、津波の高さは4m～5mと推計されています。

このような最大クラスの地震に備え、木曾川下流河川事務所では堤防や水門等の耐震補強工事を進めているところです。

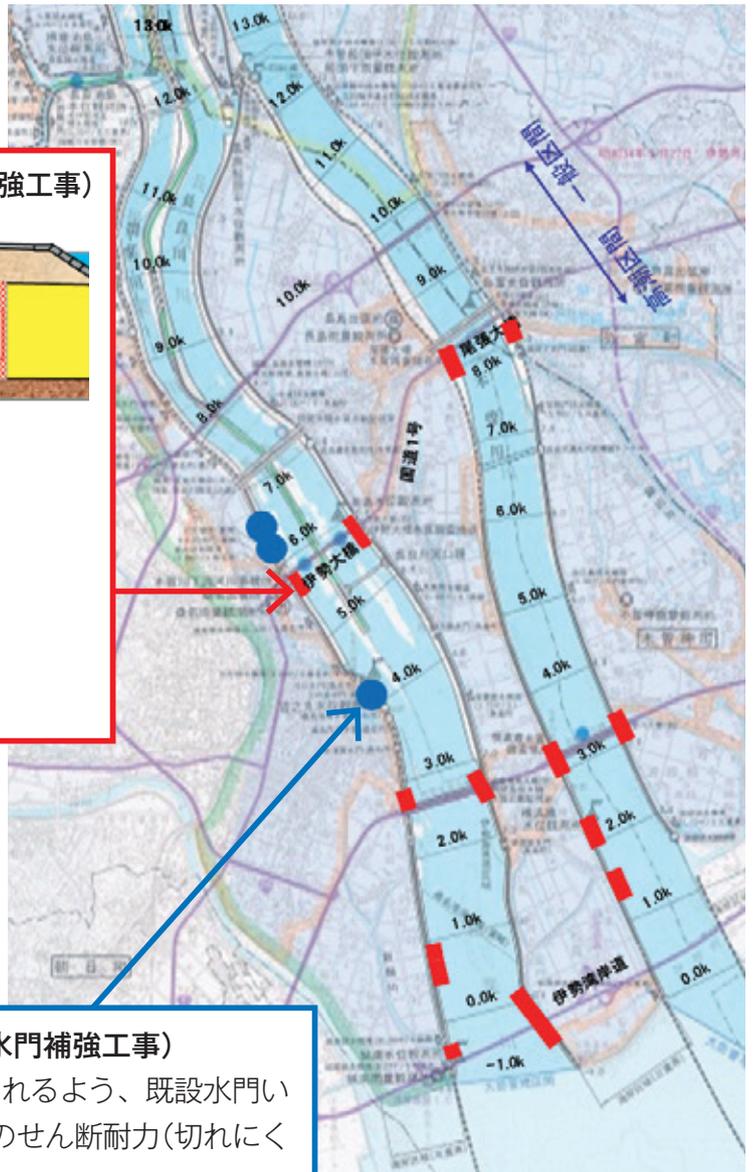
### 堤防の地盤補強（改良）

地震時の液状化現象による堤防の崩壊を防ぐため、高潮堤防部の地盤補強(改良)を実施しています。

■高潮堤防補強の例(H23 揖斐川福島高潮堤防補強工事)

対策イメージ

### 平成24年度工事箇所



### 水門の耐震補強

地震時に水門等が壊れないよう、削孔し、補強鉄筋を挿入することにより、強度を向上させる工事を実施しています。

●水門耐震対策の例(H23 揖斐川吉之丸地区 水門補強工事)

「レベル2地震動」に相当する地震力に耐えられるよう、既設水門に削孔し、補強鉄筋を挿入することにより、部材のせん断耐力(切れにくさ)・じん性(ねばり強さ)を向上させる。

- 凡例—
- 水門等耐震対策箇所
  - 堤防耐震・液状化対策箇所

## 木曾三川流域開放講座を開催しました。

「明治改修」をテーマに、治水・文化・環境についてのそれぞれの分野に造詣の深い講師をお招きし、流域の皆様にご改めて明治改修について検証し、木曾三川を知って頂く事を目的に「木曾三川流域開放講座」を長良川サービスセンターにおいて開催しました。

開放講座には、約60名の方が参加し、真剣に聴講頂きました。また、講義後の質疑応答では、活発な意見交換が行われました。



	開催日時	講師	内容
第1回	平成24年10月15日(月) 10:00~12:00	岐阜聖徳学園大学 教授 秋山 晶則	木曾三川の変遷 ~宝暦治水から明治改修まで~
第2回	平成24年10月29日(月) 10:00~12:00	オランダ人技術者業績研究会 代表 上林 好之	明治改修における河川施設
第3回	平成24年11月13日(火) 10:00~12:00	花園大学 名誉教授 伊藤 安男	明治改修と流域住民の動向
第4回	平成24年11月26日(月) 10:00~12:00	(独)土木研究所 上席研究員 萱場 祐一	川の見方と木曾川における 自然環境の変化と今後

## 漁船を活用した防災訓練を実施しました。

平成23年6月28日に木曾三川河口部の4漁業協同組合(赤須賀、伊曾島、城南、木曾岬)、国土交通省木曾川下流河川事務所、3関係自治体(三重県、桑名市、木曾岬町)で「災害時における木曾三川河口部の漁業協同組合との協力協定」を締結しました。

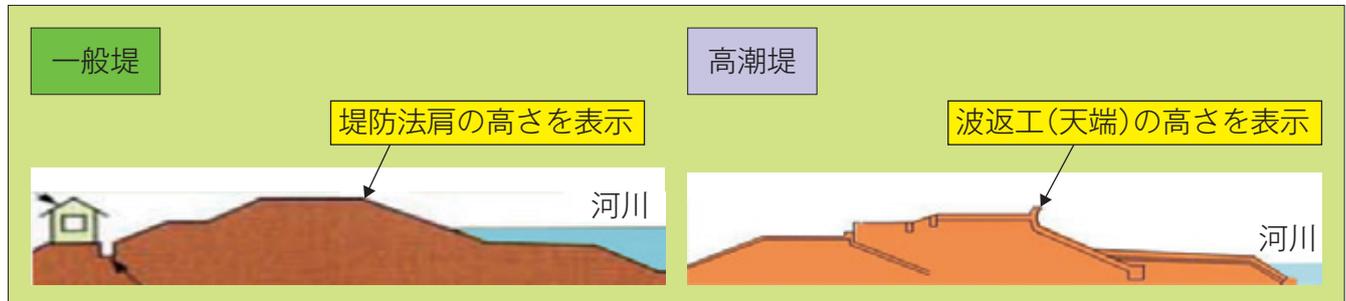
平成24年10月25日、本協定に基づき連携を深め、地域防災力の向上を図る目的で、赤須賀漁業協同組合と関係機関との合同で防災訓練を実施しました。防災訓練では、協定に基づく活動内容を確認したほか、漁船による実働訓練を実施しました。



## 河川堤防に堤防高（海拔）を表示しました。

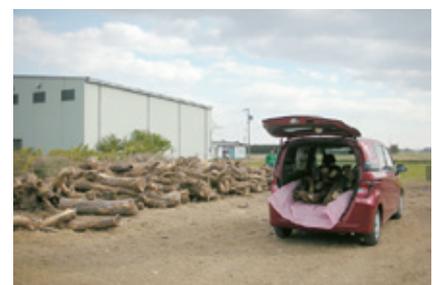
平成 24 年 8 月 29 日に政府から「南海トラフの巨大地震による津波高・浸水域等及び被害想定」が公表され、管内各地の最大津波高は、桑名市・木曾岬町で 5.0m、弥富市で 4.0m と想定されています。

木曾川下流河川事務所では、管内の河川堤防に堤防高(海拔)表示を設置しました。



## 昨年に引き続き、薪などの自家消費に限り『伐採木の無料提供』を実施中!

河川内の樹木は大切な自然環境ですが、出水時に流れを阻害するなど、問題となる樹木を伐採しています。伐採木の大部分は、リサイクル施設等で処分しておりますが、資源の有効活用や、河川維持のコスト縮減のため、営利目的（第三者へ木材として販売又は譲渡等）を除くご希望の方に無料で提供しています。



提供を希望される方は、木曾川下流河川事務所 海津出張所にお申し込み下さい。

国土交通省 木曾川下流河川事務所 海津出張所

住 所：海津市海津町大字東小島字東大城 23 TEL：0584-53-0483

「木曾三川だより」問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局 木曾川下流河川事務所 調査課

〒511-0002 桑名市大字福島 465 TEL.0594-24-5715 FAX.0594-21-0893

<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/>